

いのちをまもるPARTNERS
医療安全全国共同行動

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”に ぜひご参加ください

参加登録施設・医療安全レポート個人登録者・会員 募集中!

医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”とは…

患者さんの安全を守り、患者さんと医療者がともに安心して治療やケアに専念できる医療環境づくりを促進するために、日本の医療を支える全国の医療機関・医療従事者・医療団体が、施設や職種、専門の壁を超えて、力を合わせて、安全目標の実現をめざす、医療界初の共同事業です。医療安全全国共同行動は2008年に発足し、その活動をさらに推進し、継続発展させるため、2013年に「一般社団法人 医療安全全国共同行動」が設立されました。



医療安全全国共同行動 議長
高久史磨

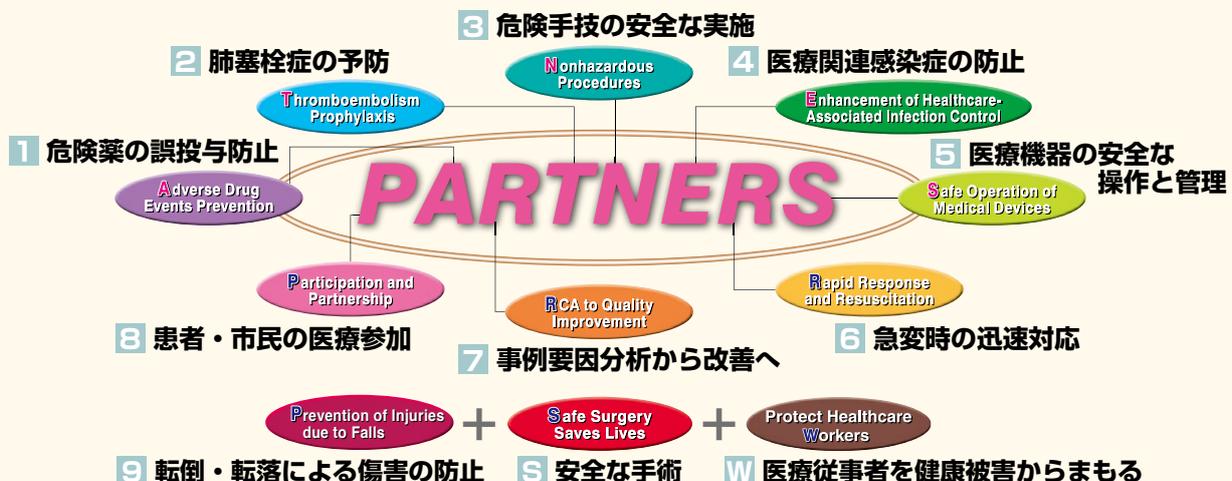
医療安全全国共同行動の活動

1. 医療事故をなくすための組織的な改善活動
2. 病院の取り組みに対する技術的支援
3. 地域での医療安全活動の交流・普及
4. 改善に取り組む病院を広げる活動
5. 見える化 [達成指標・HSMR(標準化病院死亡比)・対策の浸透度]

(一社) 医療安全全国共同行動の設立呼びかけ団体

日本医師会 日本歯科医師会 日本看護協会 日本薬剤師会 日本臨床工学技士会 医療の質・安全学会

医療安全に取り組むための行動目標を掲げています



2008年、医療安全全国共同行動の発足にあたって、医療の現場で“避けることのできる死”を少しでも減らすために、“今すぐにでもできるのに、できていないこと”が8つの行動目標として取り上げられました。その後、2012年に「行動目標S：安全な手術－WHO指針の実践」、2015年に「行動目標W：医療従事者を健康被害からまもる」、2017年に「行動目標9：転倒・転落による傷害の防止」が加わりました。

もっと安全な医療のために！ 11の行動目標

全国の参加登録施設が行動目標を選んで取り組んでいます

参加登録施設に、各目標ごとに目標実現のための「支援ツール」をホームページから提供しています。



行動目標 ① 危険薬の誤投与防止

[目標] 危険薬の誤投与に起因する死亡を防止する

[推奨する対策]

1. 危険薬の啓発と危険薬リストの作成・周知
2. 高濃度カリウム塩注射剤、高張塩化ナトリウム注射剤の病棟保管の廃止
3. 入院時持参薬の安全管理
4. がん化学療法レジメンの院内登録制度
5. 「危険薬の誤投与防止ベストプラクティス16 (NDP)」の実施 (チャレンジ)



行動目標 ② 肺塞栓症の予防*

*2019年度より行動目標2の名称が「周術期肺塞栓症の予防」から「肺塞栓症の予防」に変更になりました

[目標] 肺塞栓症による死亡を防ぐ

[推奨する対策]

1. 適正な予防法の選択のための総合的な評価
2. 予防法の安全で確実な実施と情報収集
3. 職員の静脈血栓塞栓症予防に対する重要性の認識向上
4. 患者への説明、同意と、患者参加の促進
5. ハイリスク患者へのスクリーニング検査の実施 (チャレンジ)
6. 静脈血栓塞栓症の早期診断・治療マニュアルの作成 (チャレンジ)



行動目標 ③ 危険手技の安全な実施

(a) 経鼻栄養チューブ挿入時の位置確認の徹底

[目標] 経鼻栄養チューブの挿入留置手技に伴う有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

[推奨する対策]

1. 経鼻栄養チューブの挿入と位置確認のためのマニュアルの策定及び遵守
2. 空気聴診法を位置確認の確定判断基準にしない
3. 初回挿入留置時はエックス線撮影で位置確認を行う
4. pH測定による補強確認を励行する (チャレンジ)



(b) 中心静脈カテーテル穿刺挿入手技に関する安全指針の遵守

[目標] 中心静脈カテーテルの穿刺挿入手技に伴う有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

[推奨する対策]

1. TPNとCVC留置適応の厳格化
2. 安全な穿刺手技等の標準化
3. 安全手技の教育体制の構築 (チャレンジ)



行動目標 ④ 医療関連感染症の防止

[目標] 医療行為が関わる感染症死亡を防ぐ

[推奨する対策]

1. 手指衛生*の徹底
 2. 標準予防策・感染経路別予防策の強化
 3. 環境と器具の清浄化
 4. 薬剤耐性 (Antimicrobial Resistance ; AMR) 対策
- *WHO "Clean Hands" Campaign



行動目標 ⑤ 医療機器の安全な操作と管理

(a) 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理

[目標] 輸液ポンプ・シリンジポンプが関わる有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

[推奨する対策]

1. 輸液ポンプ・シリンジポンプの保守点検の確実な実施
2. 操作者マニュアルの作成と教育の徹底
3. 操作者用チェックリストの作成と適正な運用
4. 機種統一 (チャレンジ)
5. 院内認定制度の確立 (チャレンジ)

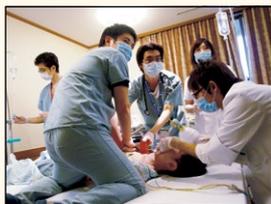


(b) 人工呼吸器の安全管理

[目標] 人工呼吸器が関わる有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

[推奨する対策]

1. 人工呼吸器の保守点検 (日常・定期点検) の確実な実施
2. 人工呼吸器動作確認チェック表の作成と運用
3. 生体情報モニタを必ず装着する
4. 警報対応態勢の確立 (チャレンジ)
5. 人工呼吸器関連肺炎 (VAP) の予防 (チャレンジ)



行動目標 6 急変時の迅速対応

【目標】 医療行為に伴う院内急変事例の死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 有害事象に対する緊急対応手技の浸透
2. 心肺蘇生法の職員教育の徹底
3. 院内救急計画の策定と体制づくり
4. 容態変化への早期対応態勢(RRS)の確立(チャレンジ)



行動目標 7 事例要因分析から改善へ

【目標】 有害事象や死亡事例の要因分析に基づくシステムの改善

【推奨する対策】

1. 事例要因分析の手法の周知と職場での実施
2. 事例要因分析で明らかになった課題に関する改善活動の実施
3. M & Mカンファレンス(Morbidity & Mortality Conference)のプログラム化(チャレンジ)



行動目標 8 患者・市民の医療参加

【目標】 患者・市民と医療者のパートナーシップを通じてケアの質・安全と相互信頼を向上させる

【活動】 1. 患者や地域の市民が参加・参画して医療の質・安全を向上させる活動を新規に実施する。

2. 活動の成功体験や教訓を共同行動HPから紹介する。

- 支援ツールを提供している参考モデル (a)安全は名まえから～患者と医療者の協同によるフルネーム確認 (b) からだと病気になるために～患者図書室の設立へ向けて (c) 転ばぬ先に～患者参加による転倒転落防止 (d) 周術期肺塞栓症予防への患者参加 (e) 一冊にまとめて安心、おくすり手帳

行動目標 9 転倒・転落による傷害の防止

【目標】 転倒・転落事故による傷害防止対策と、これに起因する死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 転倒・転落の患者アセスメントシートを作成し実施をする
2. スタッフの事故予測力の向上を図る
3. 転倒アセスメント結果により導かれたソフト、ハード対策の実施をする
4. 身体拘束の制限と廃止をする
5. 多職種チームによる転倒防止活動の推進を図る
6. 活動の評価を行い、療養環境改善を継続的に進めていく



行動目標 S 安全な手術－WHO指針の実践

【目標】 WHO「安全な手術のためのガイドライン2009」の実践によって、手術と麻酔に関わる有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 正しい患者の正しい部位を手術する
2. チームは、患者を疼痛から守りながら、麻酔薬の投与による有害事象を防ぐことが分かっている方法を用いる
3. 命にかかわる気道確保困難もしくは呼吸機能喪失を認識し適切に準備する
4. 大量出血のリスクを認識し適切に準備する
5. 患者が重大なリスクを持っていると分かっているアレルギーあるいは薬剤副作用を誘発することを避ける
6. 手術部位感染のリスクを最小にすることが分かっている方法を一貫して用いる
7. 手術創内に器具やガーゼ(スポンジ)の不注意な遺残を防ぐ
8. 全ての手術標本を確保し、きちんと確認する
9. 効果的にコミュニケーションを行い、手術の安全な実施のために極めて重要な情報をやりとりする
10. 病院と公衆衛生システムは、手術許容量、手術件数と転帰の日常的サーベイランスを確立する

行動目標 W 医療従事者を健康被害からまもる

(1) 抗がん剤曝露のない職場環境を実現する

【目標】 医療従事者が抗がん剤に曝露されることを防ぐ

【推奨する対策】

1. 調製時の吸入曝露防止のために、室外排気型の安全キャビネットを設置する
2. 取り扱い時の曝露防止のために、閉鎖式接続器具を活用する
3. 取り扱い時におけるガウンテクニック(PPE: 呼吸用保護具、保護衣、保護キャップ、保護メガネ、保護手袋の着用)を徹底する
4. 取り扱いに係る作業手順(調剤、投与、廃棄等における曝露防止策を考慮した具体的な作業方法)を策定し、関係者へ周知徹底する
5. 取り扱い時の吸入曝露、針刺し、経皮曝露した際の対処方法を策定し、関係者へ周知徹底する、他

(2) 感染症の拡散を防止する院内手順を遵守する

【目標】 医療従事者を各種感染症からまもる

【推奨する対策】

1. 針刺し切創事故を防止する
2. ワクチン接種および抗体価の把握

安全目標の達成に向けて支援しています

医療安全全国共同行動では70名を超える多職種・多分野の専門家の方々がボランティアで支援活動に従事、目標別のセミナーやワークショップ、さらにホームページを通じて医療安全に取り組む医療機関を支援しています。

(*印は限定公開となっています)

●研修会や目標別のセミナー、ワークショップを開催しています

ホームページから開催案内や報告がご覧になれます



2016年7月
医療安全研修会 (ヒューマンエラー分析)



2016年7月
医療安全研修会 (チームトレーニング)



2016年11月
分科会「危険手技の安全な実施-経鼻栄養チューブ」



2015年11月
分科会「安全な手術-WHO指針の実践」



2015年8月
医療安全管理者・病院管理者向け研修
「院内事故調査の手法を学ぶ」



2014年6月
キックオフセミナー 機器展示

●講師を派遣します

院内研修など、目的に応じて共同行動より専門の講師を紹介・派遣いたします

●「医療安全実践ハンドブック」を頒布

医療安全全国共同行動が掲げる10の行動目標について、最新情報に基づく推奨対策と実践方法をわかりやすくまとめました。医療安全管理者必携！

■医療安全全国共同行動
技術支援部会編/B5判/
オールカラー/328ページ
定価 [本体2500円+税]



* 詳細はホームページをご参照ください (ページ見本の閲覧や申込み書のダウンロードができます)

●「医療安全レポート」を毎月発行*

医療安全に取り組むために役立つ情報や知識、提言を読みやすくまとめ、専門性と実用性を備えた読み応えのある記事を毎月お届けします。執筆は、共同行動の技術支援部会委員はじめ各分野の有識者が担当。

■A4判 20~28頁/毎月1回
発行/PDF形式にてHPに掲載

■申込み方法：下記のいずれかにご登録ください
参加登録施設/医療安全レポート利用等個人登録者/
正会員・賛助会員
(当パンフレットp.6参照)



* ホームページより創刊号を試読いただけます

●ホームページから各種支援・情報を提供しています

[支援ツール]*

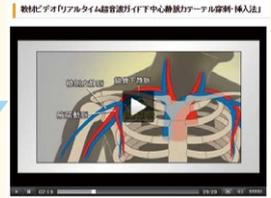
行動目標を実現するために開発された支援ツールとして、目標別に「ハウツーガイド」(詳細解説と推奨対策マニュアル)と「ツール」(取り組みを支援するツール)を提供しています

目標	ハウツーガイド	ツール
各目標共通		TOOL BOX
行動目標1: 危険薬の誤投与防止	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標2: 肺塞栓症の予防	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標3: 危険手技の安全な実施		
(a) 経鼻栄養チューブ	ハウツーガイド	TOOL BOX
(b) 中心静脈カテーテル	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標4: 医療関連感染症の防止	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標5: 医療機器の安全な操作と管理		
(a) 輸液ポンプ・シリンジポンプ	ハウツーガイド	TOOL BOX
(b) 人工呼吸器	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標6: 急変時の迅速対応	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標7: 事例要因分析から改善へ	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標8: 患者・市民の医療参加	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標9: 転倒転落による傷害の防止	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標S: 安全な手術-WHO指針の実践	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標W: 医療従事者を健康被害からまもる (1) 抗がん剤薬毒のない職場環境を実現する (2) 感染症の拡散を防止する院内手順を遵守する	ハウツーガイド	TOOL BOX

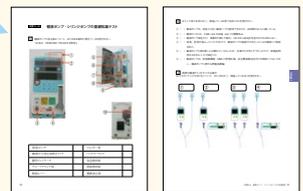
支援ツール一覧



医療事故調査キット (目標7)



危険手技の安全な実施 (中心静脈カテーテル) 教材ビデオ短縮版(目標3b)



輸液ポンプ・シリンジポンプの基礎知識テスト (目標5a)

[患者・市民の皆さまのページ]

医療者と患者・市民の皆さまを結んで医療安全に役立つ各種情報やツールをお届けしています。

★フルネーム確認ポスター



★お薬手帳推進ポスター



★入院日誌

入院中の患者さん(または家族)が、毎日のちょっとした記録や担当医・看護師の名前などをメモしたり、薬、手術、処置、検査のことなど、医療従事者に聞きたい大事な質問などを書いておくことができる、簡単な小さなノート(A5判)です。



①表紙(右)・裏表紙(左)。



②日誌のページ (見開きで1日分)

[ねっとフォーラム専用ページ]*

いのちをまもる PARTNERS
医療安全全国共同行動

ねっとフォーラム専用ページ

- HOME
- ねっとフォーラムの利用方法
- Q&A (ねっとフォーラム、マイページについて)
- 参考資料
- ねっとセミナー
- ねっとフォーラム特設展
- ねっとライブラリー
- フォーラムシンポジウムの記録
- パートナーズの活動
- バナー、ロゴマーク等
- ねっとフォーラム・メンバーリスト参加者一覧
- (一社)医療安全全国共同行動会 事務局のお知らせ/共同行動連絡会誌

行動目標への取り組みに役立つコンテンツや限定公開資料、メールマガジンバックナンバーの記事などを閲覧できます(参加登録施設・正会員限定)。

〈おもなコンテンツ〉全国フォーラムや研修の動画やスライド資料/目標達成に向けたアドバイス/アドバイザーへの相談・回答/ねっとライブラリー(参加登録施設が提供し合う医療安全ツール)/ねっとセミナー/参加登録施設の医療安全管理者による取り組み紹介、病院長によるコラム(メルマガ記事)など

★印はいずれも共同行動ホームページからダウンロードしてお使いいただけます。

〈そのほかのおもなコンテンツ〉
転倒を防ぐために/患者図書室について/肺塞栓症予防について/採血を受けられる患者さまへ 他

病院、診療所・薬局・訪問看護ステーションなど医療機関の皆さまへ ぜひ「参加登録施設」に登録ください

医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”にぜひご参加いただき、行動目標の実現と経験・教訓の共有にご協力をお願いいたします。参加登録をしていただいた施設には、行動目標への取り組みをさまざまな形で支援します。

特典

- 「医療安全レポート」の閲覧（毎月1回発行/A4判 20～28ページ）
- 支援ツールの閲覧・利用（行動目標実現のためのツールキットやハウツーガイド）
- フォーラム、セミナーの限定公開動画や資料の閲覧
- ねっとライブラリーの利用（医療安全ツールの共有）
- メーリングリストへの参加（情報・意見交換、質問、相談等可能）
- アドバイザーへの相談・質問
- マイページ開設（自施設のページで定期報告入力とフィードバックなど可能）
- 参加登録証の院内掲示（病院向けA3判、診療所向けA4判）
- 講師の紹介・派遣（院内研修等への専門家の派遣他）
- 共同行動のバナーやロゴマークの使用（施設のHPなどに掲載可能）
- 各種割引（医療安全全国共同行動が主催するセミナー等の受講料、刊行物等）
- 施設名公表（共同行動HPやパンフレットに掲載）

- 年間登録費用 *1カ年は4月～翌年3月、金額は税込
 〈病院〉1カ年/4万円(200床以上)
 1カ年/2万円(200床未満)
 〈診療所、薬局等〉2カ年/1万円

参加登録方法

ホームページの「登録・加入はこちら」バナーからお手続きください。
*年度途中でも登録できます。



【参加登録証】貴施設内に掲示していただけます

医療従事者、医療安全に取り組む皆さまへ ぜひ「医療安全レポート利用等個人登録者」にご登録ください

特典

- 「医療安全レポート」の閲覧（毎月1回発行/A4判 20～28ページ）
- 支援ツールの閲覧・利用
- 医療安全全国共同行動が主催するセミナー等の受講料割引

- 年間登録費用 1カ年 5千円 *1カ年は4月～翌年3月、金額は税込
- 個人登録方法 ホームページの「登録・加入はこちら」バナーからお手続きください。



「医療安全レポート」

医療を支える団体、学会、企業、個人の皆さまへ ぜひ「会員」として事業の推進にご協力をお願いします

正会員

団体または学会は正会員として会費を納入していただくことにより共同行動社員総会に出席し、役員の選任や事業内容等の重要な意思決定に加わることができます。また、登録者は「医療安全レポート」や限定公開資料等の利用ができ、全国フォーラム、シンポジウム等に会員割引にて参加できます。

- 年会費 団体、学会：1口 5万円（1口以上）

賛助会員

賛助会員は団体、企業、個人が共同行動の事業を賛助するために入会していただくものです。賛助会員は「医療安全レポート」の無料閲覧、支援ツールの利用ができ、共同行動のホームページやパンフレット等に名称を掲載いたします。全国フォーラム、シンポジウム等に会員割引にて参加できます。

- 年会費 団体、企業：1口 10万円（1口以上） 個人：1口 2万円（1口以上）

入会のお願い

共同行動の事業は定款により、患者さんの安全を守り、患者さんと医療者が安心して治療に専念できる環境作りを目的として活動しています。こうした事業活動はおもに会費と寄付金収入によって運営されております。今後の事業の継続、発展には会費収入が不可欠であり、皆さまの入会をぜひともお願いいたします。

- 申込方法 事務局（secretariatpartners@kyodokodo.jp）へ入会申込書をご送付ください。

※詳細はホームページの「登録・加入はこちら」をご覧ください。

参加登録施設

〔病院〕

〔北海道〕旭川赤十字病院／札幌禎心会病院／JA北海道厚生連連軽厚生病院／日鋼記念病院／動医協中央病院／市立千歳市民病院／釧路労災病院／名寄市立総合病院／恵み野病院／砂川市立病院／市立室蘭総合病院／北星記念病院／市立根室病院／函館おもむろ整形外科病院 〔青森県〕弘前記念病院／むつ総合病院／黒石市国民健康保険 黒石病院／健生病院／青森病院 〔岩手県〕岩手医科大学附属病院／盛岡赤十字病院／岩手県立中部病院 〔宮城県〕石巻市立病院／石巻赤十字病院／永仁会病院／公立刈田総合病院／大泉記念病院 〔秋田県〕秋田赤十字病院／秋田県立循環器・脳脊髄センター 〔山形県〕鶴岡市立荘内病院／山形県立新庄病院／三友堂病院／米沢市立病院／山形県立中央病院／みゆき会病院／小国町立病院 〔福島県〕医療生協 わたり病院／竹田総合病院／福島県立医科大学附属病院／太田総合病院附属太田西ノ内病院／白河厚生総合病院／（一財）脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院／福島県立医科大学会津医療センター附属病院／大原総合病院／福島寿光会病院 〔茨城県〕東京医科大学茨城医療センター／常陸大宮済生会病院／筑波記念病院／村立東海病院／県北医療センター 高萩協同病院／西間木病院／総合守谷第一病院 〔栃木県〕自治医科大学附属病院／獨協医科大学病院／栃木県立がんセンター／栃木県済生会宇都宮病院／藤井脳神経外科病院／獨協医科大学日光医療センター 〔群馬県〕公立藤岡総合病院／利根中央病院／慶友整形外科病院／せせらぎ病院／真木病院 〔埼玉県〕埼玉協同病院／北里大学メディカルセンター／自治医科大学附属さいたま医療センター／埼玉県総合リハビリテーションセンター／富家病院／獨協医科大学埼玉医療センター／さいたま記念病院／埼玉県立循環器・呼吸器病センター／埼玉精神神経センター／堀ノ内病院／武蔵嵐山病院／埼玉よりい病院／旭ヶ丘病院 〔千葉県〕千葉市立青葉病院／東邦大学医療センター 佐倉病院／千葉市立海浜病院／成田赤十字病院／四街道徳洲会病院／千葉脳神経外科病院／東京女子医科大学附属八千代医療センター／千葉県がんセンター／山之内病院／船橋二和病院／天王台消化器病院／亀田総合病院 〔東京都〕武蔵野赤十字病院／NTT東日本関東病院／立川相互病院／総合母子保健センター 愛育病院／東京医科大学病院／東京衛生病院／東邦大学医療センター大森病院／東大和病院／練馬光が丘病院／板橋中央総合病院／河北総合病院／三井記念病院／第三北品川病院／イムス葛飾ハートセンター／大橋病院／神谷病院／大森赤十字病院／柳原病院 〔神奈川県〕横須賀市立市民病院／神奈川県厚生連伊勢原協同病院／国家公務員共済組合連合会平塚共済病院／厚木市立病院／川崎協同病院／昭和大学横浜市北部病院／関東労災病院／茅ヶ崎市立病院／東名厚木病院／川崎市立多摩病院／藤沢湘南台病院／横浜労災病院／聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院／竹山病院／亀田病院／総合相模更生病院／大和市立病院／横須賀市立うままち病院／広瀬病院／宮川病院／小田原市立病院／小田原循環器病院／総合川崎臨港病院／総合高津中央病院／川崎病院 〔新潟県〕下越病院／長岡中央総合病院 〔富山県〕富山県立中央病院／厚生連高岡病院／南砺市立病院 〔石川県〕国民健康保険 小松市立病院／津幡町国民健康保険直営河北中央病院 〔福井県〕福井県済生会病院／公立丹南病院／福井大学医学部附属病院 〔山梨県〕笛吹中央病院 〔長野県〕JA長野厚生連佐久総合病院／組合立 諏訪中央病院／佐久市立国保浅間総合病院／飯田市立病院／松本市立病院／長野中央病院／健和会病院／浅間南麓こもろ医療センター／下伊那厚生病院 〔岐阜県〕松波総合病院／羽島市立病院 〔静岡県〕医療法人社団盛翔会 浜松北病院／浜松医療センター／浜松赤十字病院／聖隷浜松病院／静岡市立清水病院／聖隷三方原病院／焼津市立総合病院／静岡県立総合病院／地方独立行政法人 静岡市立静岡病院／磐田市立総合病院／静岡リハビリテーション病院／浜松市リハビリテーション病院／岡村記念病院／静岡徳洲会病院／中東総合医療センター 〔愛知県〕厚生連海南病院／名古屋共立病院／名古屋第二赤十字病院／愛知県がんセンター／中京病院／安城更生病院／愛知医科大学病院／名古屋大学医学部附属病院／藤田医科大学病院／藤田医科大学病院／名古屋市立大学病院／豊川市立病院／中部ろうさい病院／名古屋市立東部医療センター／大同病院／医療法人 光生会 光生会病院／さくら総合病院／一宮市立市民病院／大隈病院／名古屋ハートセンター／名古屋市立西部医療センター／愛知県三河青い鳥医療療育センター／碧南市立病院 〔滋賀県〕誠光会 草津総合病院／長浜赤十字病院／大津赤十字志賀病院／市立長浜病院／市立野洲病院 〔京都府〕京都民医連中央病院／京都大学医学部附属病院／舞鶴共済病院／恩賜財団 済生会京都府病院／洛西ニュータウン病院／武田病院／三菱京都病院／新京都南病院 〔大阪府〕松下記念病院／西淀病院／在日本南プラスピテリアンミッション 淀川キリスト教病院／大阪赤十字病院／阪南病院／大阪市立総合医療センター／小松病院／市立ひらかた病院／大阪府済生会富田林病院／高槻赤十字病院／市立豊中病院／堺市立総合医療センター／緑風会病院／医真会八尾総合病院／耳原総合病院／明生総合病院／大阪府済生会千里病院／三康病院／関西医科大学香里病院／大阪歯科大学附属病院 〔兵庫県〕姫路赤十字病院／宝塚市立病院／西宮協立脳神経外科病院／真星病院／六甲アイランド甲南病院／西宮市立中央病院／兵庫県立粒子線医療センター／兵庫医科大学ささやま医療センター／小原病院／中林病院／神戸アドベンチスト病院／姫路愛和病院／高砂西部病院／尾原病院／神戸協同病院／あんしん病院／公立宍粟総合病院 〔奈良県〕奈良県立医科大学附属病院／土庫病院 〔和歌山県〕日本赤十字社和歌山医療センター／南和歌山医療センター／橋本市立病院 〔鳥取県〕博愛病院 〔島根県〕加藤病院 〔岡山県〕岡山済生会総合病院／岡山労災病院／総合病院岡山協立病院／岡山大学病院／高梁市国民健康保険成羽病院／岡山東部脳神経外科病院 〔広島県〕広島赤十字・原爆病院／寺岡記念病院／国家公務員共済組合連合会広島記念病院／広島共立病院／広島市医師会運営・安芸市立病院／たかの橋中央病院／安田病院／福山医療センター／生協さえき病院／荒木脳神経外科病院／公立世羅中央病院／浜脇整形外科病院／青木病院／呉医療センター・中国がんセンター 〔山口県〕岩国市医療センター 〔徳島県〕徳島市立市民病院／宇部興産中央病院 〔徳島県〕川島病院／松永病院／徳島赤十字病院／吉野川医療センター／阿南医療センター 〔香川県〕香川県立中央病院／高松赤十字病院 〔愛媛県〕松山赤十字病院／愛媛大学医学部附属病院／大洲中央病院／西条市立病院 〔高知県〕高知高須病院／大井田病院 〔福岡県〕製鉄記念八幡病院／千鳥橋病院／健和会 大手町病院／福岡赤十字病院／戸畑リハビリテーション病院／ヨコクラ病院／遠賀中間医師会 おんが病院／産科婦人科 愛和病院／福岡整形外科病院／小倉記念病院／社会保険稲葉病院／今津赤十字病院 〔佐賀県〕唐津赤十字病院／佐賀県医療センター 好生館 〔長崎県〕柿添病院／日本赤十字社長崎原爆病院／上戸町病院 〔熊本県〕熊本赤十字病院／天草郡市医師会立 天草地域医療センター 〔大分県〕津久見市医師会立津久見中央病院 〔鹿児島県〕出水郡医師会広域医療センター／三愛病院／産科婦人科のぼり病院 〔沖縄県〕ハートライフ病院／沖縄県立中部病院／沖縄中央病院／大浜第一病院／与那原中央病院

〔診療所〕

〔北海道〕美園産婦人科小児科 〔宮城県〕みやぎ北部循環器科／新富谷 S・S レディースクリニック 〔東京都〕石橋クリニック／東京ミッドタウンクリニック／武蔵野総合クリニック／てらもとクリニック／世田谷リウマチ膠原病クリニック／新宿駅前クリニック 〔神奈川県〕多摩ファミリークリニック 〔岐阜県〕ローズベルクリニック 〔愛知県〕大地整形外科／オリブ在宅クリニック 〔大阪府〕豊中けいじん会クリニック／笹岡クリニック 〔兵庫県〕伊藤産婦人科医院 〔広島県〕谷本医院 〔福岡県〕みずほ内科・歯科クリニック 〔佐賀県〕じんの内医院

※2020年10月現在

正会員・賛助会員

〔正会員〕

医療の質・安全学会／日本医師会／日本歯科医師会／日本看護協会／日本薬剤師会／日本臨床工学士会／日本医学シミュレーション学会／日本医療機器学会／日本感染症学会／日本癌治療学会／日本形成外科学会／日本口腔科学会／日本呼吸療法医学会／日本高血圧学会／日本歯科衛生士会／日本集中治療医学会／日本循環器学会／日本小児神経学会／日本神経学会／日本診療放射線技師会／日本赤十字社／日本透析医学会／日本乳癌学会／日本熱傷学会／日本脳神経血管内治療学会／日本皮膚科学会／日本プライマリ・ケア連合学会／日本放射線技術学会／日本麻酔科学会／日本輸血・細胞治療学会／日本リウマチ学会／日本臨床衛生検査技師会／日本臨床救急医学会／日本臨床外科学会／日本臨床検査医学会／日本臨床腫瘍学会／日本臨床薬理学会／全国国立大学放射線技師会／全国国立病院療養所放射線技師会／抗がん剤曝露対策協議会／青森県医師会／茨城県医師会／石川県医師会／兵庫県医師会／広島県医師会／福岡県医師会／佐賀県医師会／長崎県医師会／栃木県歯科医師会／滋賀県歯科医師会／大阪府歯科医師会／兵庫県歯科医師会／奈良県歯科医師会／宮城県看護協会／群馬県薬剤師会／滋賀県病院協会

〔賛助会員〕

エーザイ株式会社／サクラグローバルホールディング株式会社／一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会／エドワーズライフサイエンス株式会社／テルモ株式会社／ニプロ株式会社／パラマウントベッド株式会社／丸三製薬バイオテック株式会社／日本コヴィディエン株式会社 菅野隆彦(医師)／杉山良子(看護師)／小林正和(臨床工学士)／保田知生(医師)

※順不同 2020年10月現在

医療安全全国共同行動のあゆみ

2008年	5月	医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”発足。キックオフ・フォーラムを東京で開催。
	7~9月	キックオフ・フォーラムを各地で開催。
	11月	医療安全全国フォーラムを東京で開催。
2009年	5月	医療安全全国フォーラムを東京で開催。
	6~11月	地域フォーラムを各地で開催。
	11月	医療安全全国フォーラムを東京で開催。
2010年	2~11月	地域フォーラム/シンポジウムを各地で開催。
	5月	医療安全全国共同行動2周年記念フォーラムを東京で開催。
	11月	医療安全全国フォーラムを千葉で開催。
2011年	7月	肺塞栓予防国際フォーラムを京都で開催(英国との共催)。
	10~11月	地域フォーラム/シンポジウムを各地で開催。
	11月	医療安全全国フォーラムを東京で開催。
2012年	4月	医療安全ワークショップを京都で開催。
	10~11月	地域フォーラム/シンポジウムを各地で開催。
	11月	医療安全全国フォーラムを埼玉で開催。
2013年	5月	一般社団法人医療安全全国共同行動設立。
	6月	記念シンポジウム「医療安全は新たなステージへ」を東京で開催。
	11月	医療安全全国フォーラムを東京で開催。
2014年	6月	医療安全キックオフセミナー2014を東京で開催。
	11月	医療安全全国フォーラムを千葉で開催。
2015年	5月	医療事故調査制度に関する講演会を栃木で開催。
	7月	『医療安全 実践ハンドブック』出版。
	8月	医療事故調査制度における「医療事故調査等支援団体」指定。 医療安全管理者・病院管理者向け研修「院内事故調査の手法を学ぶ」を京都で開催。
	9月	医療事故調査制度に関する研修会を東京で開催。
	11月	医療安全全国フォーラムを千葉で開催。
2016年	5月	病院管理者研修会「医療安全の向上を目指すトップマネジメントの責任と役割」を東京で開催。
	5~11月	医療安全セミナー「ImSAFER研修」を各地で開催。
	7月	医療安全研修会「チームトレーニングとヒューマンエラー分析を中心に」を東京で開催。
	11月	医療安全全国フォーラムを東京で開催。
	12月	医療事故調査実践セミナーを東京で開催。
2017年	2月	医療安全研修会「チームトレーニングとヒューマンエラー分析を中心に」を東京で開催。
	3~9月	医療事故調査実践セミナーを各地で開催。
	4月	『医療安全レポート』創刊。
	5~12月	医療安全セミナー「ImSAFER研修」を各地で開催。
	11月	医療安全全国フォーラムを千葉で開催。
2018年	2月	医療安全セミナー「医療安全の今を考える ~今のままでいいのか、日本の医療安全~」を東京で開催。
	3~11月	医療安全セミナー「ImSAFER研修」を各地で開催。
	10~翌1月	医療安全管理者養成研修~e-ラーニング+集合研修 併用方式~を東京で開催。
	11月	医療安全全国フォーラムを愛知で開催。
2019年	1~10月	医療安全セミナー「ImSAFER研修」を各地で開催。
	5~翌2月	医療安全管理者養成研修~e-ラーニング+集合研修 併用方式~を各地で開催。
	11月	医療安全セミナー「南信州キャラバン」を長野で開催。
	12月	医療安全全国フォーラムを京都で開催。



医療安全全国フォーラム(2011年)



医療安全全国フォーラムの特別講演より
左上 W・A・コンウエイ医師(2008年)
右上 ブライアン・ジャーマン卿(2009年)
左下 ギュンター・ヨーニッツ氏(2009年)
右下 李啓充氏(2010年)



医療安全全国フォーラム(2015年)



医療安全全国フォーラム(2016年)



医療安全全国フォーラム(2017年)



医療安全全国フォーラム(2018年)

一般社団法人 医療安全全国共同行動

議長 高久 史磨